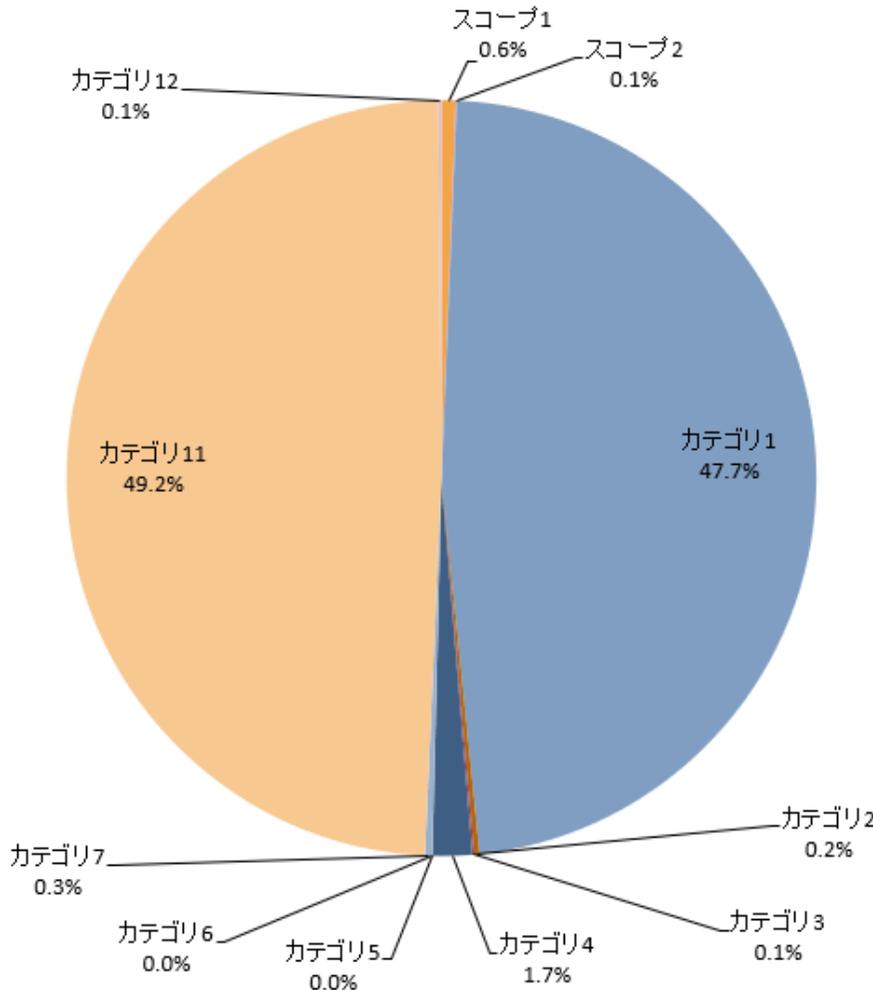


大同トレーディング株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：卸売業● 事業概要：プラスチック加工機をはじめ、特殊産業用機械卸を国内メーカーを中心にしている。1969年に設立し、当該分野で50年以上の実績がある。● 事業規模：拠点数2、従業員数15名(2021年1月1日時点)
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>1.目標：2030年までに2018年比で50.4%削減</p> <p>2.取り組み：SCOPE1の大半を占める営業車のEV化・ハイブリッド化を目指していく</p> <p><再エネ100%の目標について></p> <p>目標：2050年までに再エネ100%達成</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目標：Scope3排出量の把握と削減に取り組むことを約束。</p>

大同トレーディング株式会社

項目	内容																											
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 119.7 [tCO2] 																										
	 <table border="1"> <caption>GHG Emissions by Category</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Category 1</td><td>47.7%</td></tr> <tr><td>Category 2</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>Category 3</td><td>0.1%</td></tr> <tr><td>Category 4</td><td>1.7%</td></tr> <tr><td>Category 5</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>Category 6</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>Category 7</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>Category 8</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>Category 9</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>Category 10</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>Category 11</td><td>49.2%</td></tr> <tr><td>Category 12</td><td>0.1%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	Category 1	47.7%	Category 2	0.1%	Category 3	0.1%	Category 4	1.7%	Category 5	0.0%	Category 6	0.0%	Category 7	0.3%	Category 8	0.2%	Category 9	0.6%	Category 10	0.0%	Category 11	49.2%	Category 12	0.1%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 10.6[tCO2]
	Category	Percentage																										
Category 1	47.7%																											
Category 2	0.1%																											
Category 3	0.1%																											
Category 4	1.7%																											
Category 5	0.0%																											
Category 6	0.0%																											
Category 7	0.3%																											
Category 8	0.2%																											
Category 9	0.6%																											
Category 10	0.0%																											
Category 11	49.2%																											
Category 12	0.1%																											
	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 19,822[tCO2] 目標の対象セクター : カテゴリー1 																											

大同トレーディング株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● 現在、石油由来プラスチックに依存しているため、気候変動によるリスクは切っても切り離すことができない状況。石油由来プラスチックではなく、バイオマスプラスチックなどこれから出てくる新素材を原料とする製品の生産ニーズに応える為に試作から販売まで環境を整える準備をしていく。● 再エネの普及や積極的な情報開示によって企業価値が向上し新たなビジネスチャンスが拡大することを期待する。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 新たな事業パートナーとのつながりが生まれていくことを期待したい。● SBTの目標設定に取り組むことで、サプライヤーとして業界に展開できる立場になり、お客様との取引機会を増やす。● SBT水準の削減目標を設定し、目標達成に向け先駆的に取り組むことで、他社との差別化を図る

大同トレーディング株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 本事業によりScope1・2の把握。● 月例会議などを通して、社内での共通認識を深めていく。● 全営業車のEV化を目指しているが、バッテリー製造時に排出される温室効果ガスの量では、電気自動車はガソリン車を上回るという研究結果もあり、EV化によって環境負荷が減るのかという意見が出た。 走行時を含めたトータルで見るとEVの方が温室効果ガスの排出量のはるかに少ないが、製造工程のカーボンニュートラル・バッテリーのリサイクル等を含めて慎重に検討する方針が決まった。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope1の削減に関して、EVの充電設備・車両を用意する必要がある。● Scope3の目標のために、脱炭素社会に向けてサプライヤーとの理解を深めていく必要がある。● 上記目標の達成に向けたデータの収集方法の確立。